

対ペルー無償資金協力「中小企業ノンプロジェクト無償」
国家防災庁からCISMIDへの
地震体験車引渡式典 土屋大使挨拶

ご出席の皆様

本日は、当式典に出席できることを嬉しく思います。

今年は日本の対ペルー国際協力60周年を迎えます。日本は継続してペルーの発展基盤の整備に協力しており、こうした協力を継続していきたいと考えています。中でもペルー国立工科大学のペルー国への貢献はめざましく、我が国の成功事例の一つであり、大変誇りに思っています。

この地震体験車は、様々な自然災害の経験を有する我が国の中小企業の製品を活用し、ペルーの防災・災害対策の一助とする日本の無償資金協力プロジェクトの一つです。地震体験車だけでなく、災害時に必須となる生活インフラであるテントやトイレ、迅速な災害応急活動に必要な指揮車など、ペルーのニーズに合わせて様々な機材が整備され、支援総額は約410万米ドルに上ります。

ペルーと同じく多くの災害リスクを有する日本は、CISMIDをはじめとして長く継続して防災分野の協力を行ってきました。そのCISMIDが、国家防災庁から貸与された地震体験車を活用し、ペルーの皆様に防災の啓発を行っていくことを大変光栄に存じます。是非一人でも多くの方が、この地震体験車でリアルに再現される地震を体感していただくことを望みます。揺れの中で身を守る体勢、家具の固定の必要性など、きっと色々なことに気付くと思います。

この日本の協力が、ペルーの災害対策の一助になると共に、日ペルー両国の友好関係の更なる発展・強化に資することを期待し、私の挨拶と致します。

ありがとうございました。